

壬生野地域まちづくり協議会  
〒519-1424 伊賀市川東 4539 番地の 4  
壬生野地区市民センター内  
Tel : (45)8900 ・ Fax : (45)8901  
E-mail: tokimeki@ict.ne.jp  
URL: http://www.mibunone.net



### 第2回人権研修公開講座

- 人権・同和実行委員会 -

1月24日(土)人権・同和実行委員会の第2回研修公開講座を開催いたしました。今回の講座は「人権啓発地区懇談会のススメ」という演題でおおやまだ反差別村民ネットワークの芝田喜比古さんを講師に招いて行いました。壬生野地区として住民が主役になることができる人権啓発地区懇談会をどのように計画していけばよいか?また、推進していくわれわれが各区に根ざし、真剣に話し合う人間関係をどのようにつくっていくべきであるか?という課題の解決につながるヒントを盛り込んでくれた内容の講演でした。



地区懇談会のヒントは自分自身の生活にある、小さな活動だからこそ出来ること、そんな活動が地域や伊賀市の大きな活動とリンクすることの大切さを学ぶことができました。

### 健康・福祉実行委員会だより

- 平地委員長さん提供



1月29日(木)午後1時30分から壬生野地区市民センターにおいて、健康づくり講座「転倒防止と忍にん体操」を開催しました。講師の山田順恵さん(いがまち健康福祉センター保健師)から転倒の実情や家庭で一人ひとりが気を付けていくことなどをお話いただき、忍にん体操の効能(生活習慣病の予防、運動習慣の定着化、生活の質の向上、健康意識の向上、転倒予防の効果、バランスの保持、脚腰強化、脳の活性化)のお話のあと、忍にん体操を行いました。

参加者一同、目を輝かせ明日への健康づくりの活力となりました。参加者は27名でした。

### さくらリサイクルセンター視察研修会

- 生活・環境実行委員会、女性活動実行委員会 -

1月31日(土)生活・環境並びに女性活動実行委員会の合同企画として、さくらリサイクルセンター(ごみ燃料化施設・資源化ごみ処理施設)を各実行委員会委員と運営委員総勢24人で視察研修会を実施致しました。会議室で西尾所長はじめ担当者からの施設概要説明と質疑応答を受けました。



<忍にん体操の様子>



○金属・アルミ缶・ペットボトル・びん・容器包装プラスチックは、リサイクルされる。

○ごみから固形燃料（RDF）を作って火力発電に活用されています。  
などの説明がありました。

特に各家庭から排出されるごみの分別収集の重要性を新たにしました。

## 文化財防火デーに伴う消防訓練

雪が舞う2月1日（日）文化財防火デーに伴う消防訓練が川東の阿弥陀寺で実施されました。

当日は、伊賀市消防本部東消防署・壬生野地区消防団・阿弥陀寺総代・壬生野駐在所・関係する区の役員等の参加で消化訓練・放水訓練・消火器操作体験等を行い、文化財を保有している地域の防火意識と“火を出さない”ことの重要性を習得しました。



- 広聴広報実行委員会 -

## バイオマスガス発電設備の建設

（ヤマギシ春日山）

ヤマギシ春日山実顕地では昨年秋よりバイオマスガス発電設備の建設に着手しました。

バイオマスガス発電とは、家畜の糞尿や食物残渣等を発酵槽に入れ、自然発酵の菌を活性化させることで発生するメタンガスを利用し、発電機を運転して電力を発生させる仕組みです。安定した電力を得ることができるほか、絶えず排熱温水が供給でき、副産物として液肥や堆肥もできます。

電力はベース電源として電力会社へ売電します。排熱温水は生活水、空調設備、冬場のハウス暖房等に利用し、液肥や堆肥は畑へ還元します。今年の夏には完成し、秋には本格稼働の予定です。

排熱温水を利用して、「露天風呂を作ろうか」「温水プールが欲しいな」「ハウスを暖房してマンゴーを栽培しては」等等夢は膨らむ一方です。

この設備の稼働は東海地区では初の試みで、エネルギー資源や農畜産分野など各方面から関心が寄せられています。

